

研究課題名	炎症性心筋疾患ならびにトリパノソーマ症に対する高感度診断法の確立と分子マーカー探索
研究の意義・目的	本研究は、トリパノソーマ症という熱帯地域で流行する感染症およびその類縁疾患に関する研究です。本研究では、トリパノソーマ症が疑われる心筋疾患等を発症した患者さんを対象に、新しく開発中のPCR検査が診断の補助に有用か、また、検査値（分子マーカー）をもとに重症化や治療効果を予測出来ないか、を検証します。PCR検査の条件を最適化し、抗体検査など従来用いられてきた診断法と補完し合うことが出来れば、より精度の高いトリパノソーマ症診断法が完成します。また、重症化予測や治療法の選択が可能になれば、流行国地域において限られた医療資源の適正配分に貢献することが出来ます。着目する分子マーカーがトリパノソーマ症で選択的に重要な検査値か、また症状が類似する心筋疾患（炎症性心筋症、サルコイドーシス、虚血性心筋症等）との鑑別に有用かについても検証します。熱帯地域の貧困層を苦しめる感染症に対し、より良いヘルスケアを提供することを目指した意義深い研究であり、大阪公立大学が中心となって行います。
研究を行う期間	機関の長の実施の許可日～2027年3月31日
研究協力をお願いしたい方(対象者)	機関の長の実施の許可日～1週間の期間内に大阪公立大学医学部附属病院を受診し、ご自身の治療のために血液検査を受けられた18歳以上の方が対象となります。
協力をお願いしたい内容と、研究に使わせていただく試料・情報等の項目	診療の過程で得られた下記項目を本研究に使用させてください。 試料：【血液】 診療情報等：【年齢、性別、試料取得日、既往歴、臨床診断】
試料・情報の他機関への提供	この研究では、頂いた試料・情報の一部を京都大学医学研究科へ提供します。その際は、特定の個人を識別できない形で提供します。
この研究を行っている共同研究機関	この研究は <ul style="list-style-type: none"> エルサルバドル国立ロサレス病院（Susana Peña 医師） エルサルバドル国立サンタヘトゥルディス病院（Blanca Marisela Rivas 医師） その他、トリパノソーマ症含む炎症性心筋疾患疑い被験者の診療にあたる国内医療機関 東京医科歯科大学病院（前嶋 康浩） 東京大学（伊藤 正道） あいち小児保健医療総合センター（安田 和志） 北海道大学病院（山澤 弘州） 大阪公立大学 大学院医学研究科（城戸 康年） 京都大学 大学院医学研究科（杉浦 悠毅） 東京大学（伊藤 正道） より試料・情報の提供を受け、にて行われます。
試料・情報を管理する責任者	大阪公立大学 大学院医学研究科 寄生虫学 研究責任者 城戸 康年
本研究の利益相反	利益相反の状況については研究者等が利益相反マネジメント委員会に報告し、その指示を受けて適切に管理します。本研究に関連し開示すべき利益相反関係にある企業等はありません。
研究に協力をしたくない場合	下記に連絡することでいつでも本研究への協力を拒否することができます。また、研究への協力を断っても、診療に関する不利益等を受けることはありません。
連絡先	大阪公立大学 大学院医学研究科 寄生虫学 （担当者氏名）中釜 悠 電話番号：(06) 6645-3761